

平成30年度

福祉推進委員会活動 助成金交付のてびき



【お問い合わせ先】
社会福祉法人高島市社会福祉協議会
高島市勝野 215 番地 高島市役所高島支所 2 階 地域福祉課
☎0740-36-8220

【お近くの社協窓口はこちら】

地域	施設名	住所	電話
マキノ	はあとふるマキノ	マキノ町新保 1095 番地	27-1700
今津	えがお屋本舗上弘部店	今津町上弘部 438 番地 2	28-7525
朽木	はあとふる朽木	朽木市場 593 番地 1	38-8000
	寄り合い処「くつつき」(金曜のみ)	朽木市場 324 番地	—
安曇川	安曇川老人福祉センター	安曇川町田中 459 番地	32-1137
高島	高島市役所高島市支所 2 階 地域福祉課	勝野 215 番地	36-8220
新旭	新旭総合福祉センター やすらぎ荘	新旭町北畑 45 番地 1	25-5730

～この助成金の財源は社協会費です～

福祉推進委員会のための 助成金交付のてびき



◆福祉推進委員会活動助成金	ページ
1、助成の目的	2
2、助成対象の団体	2
3、助成の対象となる活動	2
4、助成の額	3
5、助成の財源の明示	4
6、助成金の返金について	4
7、助成金の追加請求について	4
8、提出期限	4
9、助成金交付の流れ	5
◆申請書等の記入例	
申請・請求書	6～7
助成金振込口座貼付シート	8
福祉推進委員会 委員名簿	9
実績報告書	10～12
付 録	13

◆福祉推進委員会活動助成金について

1、助成の目的

誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを進めることを目的に、区・自治会単位で設置された福祉推進委員会が主体となって実施する地域の福祉活動に対して助成金を交付します。

2、助成対象の団体

- ①各区・自治会内に設置された福祉推進委員会
- ②福祉推進委員会と同等の活動をしている区・自治会（福祉推進委員会の設置が困難な場合）

3、助成の対象となる活動

(1) 福祉推進委員会活動



- ①福祉推進委員会の運営に関する活動（企画、立案に係る会議等）
- ②地域福祉活動の理解を図るための懇談会、研修会の開催
- ③高齢者・障がい者・子ども等を対象とした福祉活動
- ④区・自治会内での交流や助け合いに関わる活動（世代間サロン・見守り活動・買い物支援など）

(2) ふれあいサロン活動

高齢者のつながりづくり、社会参加の促進を目的としたサロン活動に対して助成します。具体的には次のすべてに該当する活動です。

- ①福祉推進委員会が運営していること
- ②参加者が徒歩で行ける範囲で開催されること
- ③参加対象者を特定の会員等に限定していないこと
- ④年間3回以上開催していること
- ⑤65歳以上の方が全参加者の半数を超えていることが望ましい

※次の事業は助成の対象にはなりません。

- 参加者が限定された事業（例：老人クラブ会員のみ、子ども会会員のみを対象とした事業・役員の懇親会等）
- 市などより助成の対象となっている事業

4、助成の額

(1) 福祉推進委員会活動

・昨年度、社協会費にご協力いただいた戸数（福祉推進委員会が属する自治会）で区分した、次の表の額となります。

前年度 会費協力戸数	助成金額
5戸未満	5,000円
15戸未満	15,000円
25戸未満	20,000円
50戸未満	25,000円
50戸以上100戸未満	35,000円
100戸以上150戸未満	45,000円
150戸以上200戸未満	55,000円
200戸以上250戸未満	65,000円
250戸以上300戸未満	75,000円
300戸以上350戸未満	85,000円
350戸以上400戸未満	95,000円
400戸以上450戸未満	105,000円
450戸以上	115,000円

※会費協力金額を会費依頼額（1,000円）で除算した戸数で区分した額となります。

(2) ふれあいサロン活動

・サロン1回開催につき、2,000円を助成します。

※1年間で24,000円（12回分）を上限とします。

※3回以上の開催に限ります。

<ふれあいサロン活動は、どうして3回以上必要なの？>

ふれあいサロン活動は、日常生活上での高齢者（概ね65歳以上）の社会参加の促進や見守りを目的としています。そのため単発の活動ではなく、継続した取組みにすることが大切です。

できれば毎月1回以上の定期的な開催が望ましいですが、地区ごとの実情もあり、少なくとも3ヶ月に1回程度以上の開催をお願いしています。

5、助成の財源の明示

福祉推進委員会助成金は社協会費が財源です。

福祉推進委員会活動は社協会費が財源であることを、チラシなどに必ず明示してください。

本てびき13ページの付録をコピーして切り取り、チラシ等広報物に表示してください。

サロンのチラシなどに切り取って貼付してくださいね。



また、「財源表示プレート」をお渡ししますので、そのプレートを含めた写真撮影をして、実績報告時に写真の提出をお願いします。

6、助成金の返金について

計画していた事業が実施できなかつた等、何らかの理由で返金が発生する場合は、**平成31年3月25日(月)までに**担当職員までご連絡ください。返金にとまなう手続きの方法は個別にお知らせします。

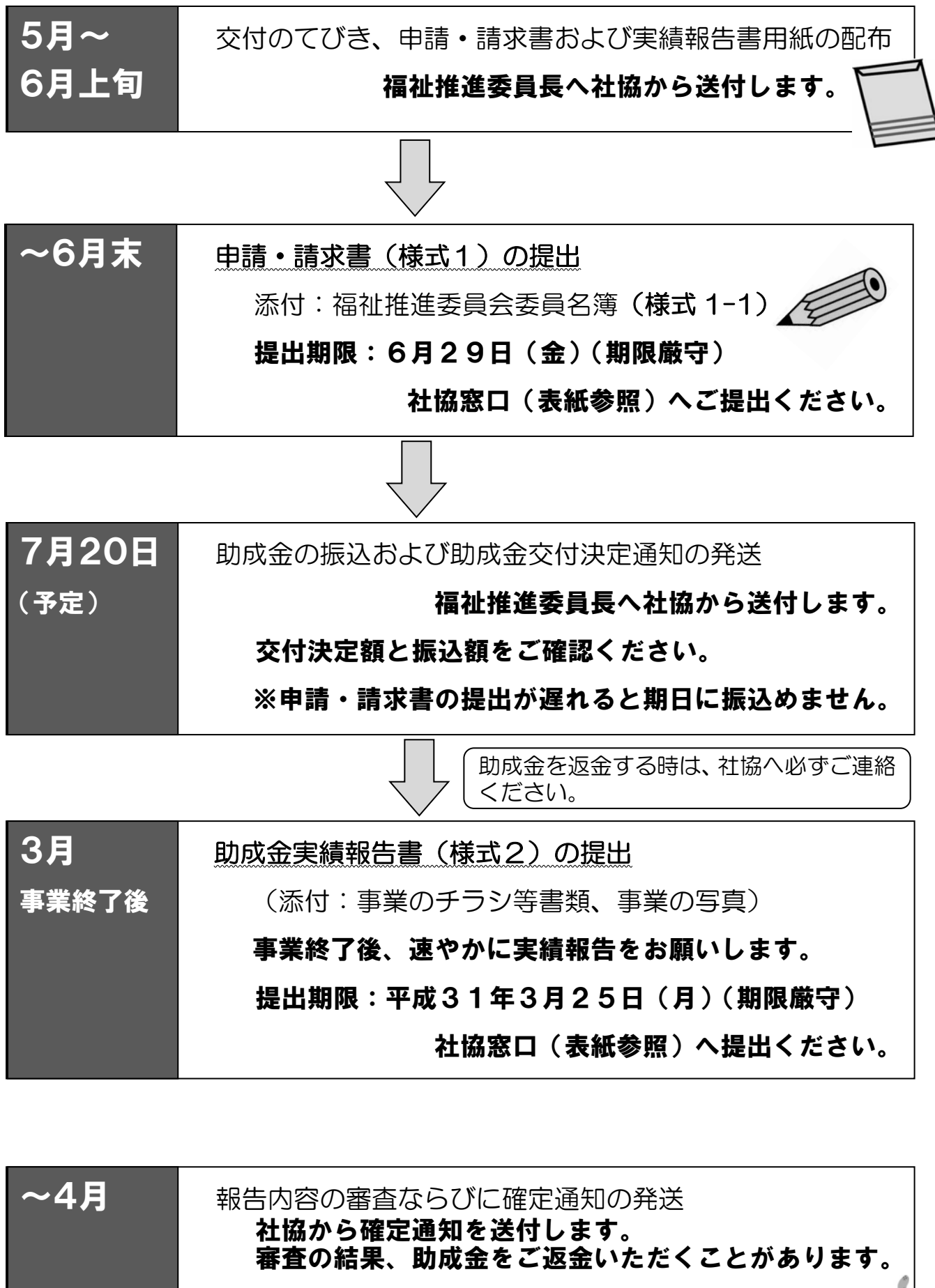
7、助成金の追加請求について

申請時よりふれあいサロンの回数が増えそうな時は、**平成30年10月31日(水)までに**担当職員までご相談ください。助成金の追加請求をしていただける場合があります。

8、提出期限

種類	提出期限	備考
申請・請求書	6月29日(金)	提出が遅れますと期日に振込できません。
実績報告書	H31/3月25日(月)	事業が終了次第、提出ください。

9、助成金交付の流れ



平成30年6月15日

社会福祉法人高島市社会福祉協議会 会長 古川進 様

1. 申請・請求

※ 提出期限 6月29日

地区（自治会）	藤樹 地区（自治会）福祉推進委員会	
申請者	氏名	高島 太郎 (印) 役職 (福祉推進委員長・区長・他)
	住所	〒520-0000 高島市藤樹1-1-1 TEL 36-0000 FAX 36-0000
	日中に連絡がとれる連絡先	TEL 090-1111-0000
助成金申請額 (請求額)	委員会活動助成① 35,000 円	サロン助成② (6回×2,000円) 12,000 円
	合計 (①+②)	47,000 円 ※

※サロン助成は、3回以上(6,000円以上)です。

2. 予算

	内容	金額	積算内訳
必要な経費(支出)	会議(茶菓子代・コピー代)	3,000	1回1,500円×2回(10人分)
	住民交流会 食材費	30,000	手作り昼食 材料代
	講師謝礼(ふれあいサロン)	10,000	バルーンアート、ほか(5,000円×2回)
	ふれあいサロン お菓子代	9,000	お茶菓子1,500円×6回
	手作りお菓子材料	3,000	見守り訪問用
	合計	55,000	

多くの方が参加できる工夫をしてください。

	内容	金額	備考
財源(収入)	社協助成金	47,000	※助成金申請額合計と同額
	区からの補助金	8,000	
	合計	55,000	

3. 振込み口座(個人の口座には振り込めません。団体で開設した口座をご指定ください。)

金融機関名 ○○銀行	支店名 ○○支店	預金種別 (普通)・当座)
口座番号	口座名義	
1234567	フリガナ トウシュクフクシスイシンイインカイ 藤樹区福祉推進委員会	

口座名等の確認のため通帳のコピーを別添付ください。

必ずフリガナを書いてください。

4. 活動計画

	時期	事業名	対象者（予定人数）	目的と内容
委員会活動（支援活動・啓発活動・交流活動・会議等）	5月	福祉推進委員会 企画会議	福祉推進委員、自治会 長、民生委員等 (18人)	今年度の具体的な活動計画のため に、会議を行う。
	7月	住民交流会	住民全員(50人)	住民どうしの親睦を図るために 交流会を行う。午後からは社協 の出前講座で、災害時の住民助 け合いの大切さを学ぶ。
	8月	見守り活動	子ども会(10人) 独居高齢者等(12人)	子ども会の協力を得て、手作り お菓子を配布し安否確認
	3月	福祉推進委員会会議	福祉推進委員、自治会 長等(10人)	今年1年の反省と今後の活動に 向けた会議を行う。
	委員会活動の合計			5回
高齢者サロン（年3回以上で、 65歳以上が半数以上の集い）	6月	ふれあいサロン	高齢者等各20人	<p>高齢者の閉じこもりの予防のため に、集会所にて、午後2時～ 4時にサロンを開催する。</p> <p>6月：体を動かすゲーム 7月：バルーンアート 9月：昔の遊び 10月：頭を使うゲーム 11月：ボランティアの演芸鑑賞 1月：○○○</p>
	7月	〃		
	9月	〃		
	10月	〃		
	11月	〃		
	1月	〃		
	サロン活動の合計			

◎区の行事である夏祭りや文化祭などはサロン
に含まれません。

目的と内容については、
できるだけ具体的に記入
してください。

5. 申請にあたって区長さんの承認欄

ご意見・困りごとがあればお願いします。 福祉推進委員会の活動に、区として積極的に協力します。	区長氏名 高島 次郎 印
--	------------------------

※添付書類:①福祉推進委員会委員名簿(様式1-1) ②通帳のコピー

自治会の中の活動として位置づけていただくため、区長様ご了解の上、活動を進めてください。

◆助成金振込口座貼付シート

口座確認のため、通帳見開きページのコピーを貼付してください。

(口座名義がカタカナで印字されているもの)

貼 付

福祉推進委員会 委員名簿

福祉推進委員会	藤樹 区(自治会)福祉推進委員会	
委員名	氏名	備考
①福祉推進委員長	高島 太郎	
②福祉推進委員	藤樹 一郎	副区長
	安曇 藤子	健康推進員
	湖西 三郎	
	琵琶湖 周子	
	海津 桜子	ボランティア
	新旭 風士	ボランティア
	座禅 草朗	ボランティア
区長(自治会長)	高島 次郎	
民生委員児童委員	藤樹 一子	

※福祉推進委員ならびに関係委員について名簿に記載しきれない場合は別紙(様式問わず)にてご報告ください。

様式2

平成30年度 福祉推進委員会助成金 実績報告書

記入例

平成31年 3月20日

社会福祉法人高島市社会福祉協議会 会長 古川進 様

1. 実績

※ 提出期限 3月25日

地区（自治会）	藤樹 地区（自治会）福祉推進委員会	
報告者	氏名 高島 太郎 印	役職 (福祉推進委員長・区長・他)
	住所 高島市藤樹1-1-1	TEL 36-0000
助成金実績額	委員会活動助成① 35,000 円	サロン助成② (6回×2,000円) 12,000 円
	合計 (①+②=③)	47,000 円 ※
助成金決定額 (すでに交付した額) ④	47,000 円	
返金額 (決定額④-実績額③)	0 円	

※実績額③が決定額④より多い場合は、職員にお申し出の上、追加分の請求書を添付ください。

2. 決算

	内 容	金 額	積 算 内 訳
活動で使った経費 (支出)	会議費	4,530	2回分 (お茶菓子代、コピー代)
	住民交流会 食材費	29,850	昼食材料代 (肉・野菜など)
	講師謝礼・材料代等 (ふれあいサロン)	10,000	バルーンアート謝金: 5,000 演芸ボランティア (交通費・材料代): 5,000
	ふれあいサロン お菓子代	12,300	お茶菓子代6回分
	手作りお菓子材料	2,520	
	合 計		59,200

	内 容	金 額	備 考
財源 (収入)	社協助成金	47,000	※助成金実績額 と同額
	参加費	5,200	交流会参加費 100円×52人
	自治会より補助	7,000	
	合 計		59,200

※ 支出と収入の合計は、同額になります。

(同額になります)

3. 活動実績

	時期	事業名	参加者（人数）	内容と実施効果
委員会活動（支援活動・啓発活動・交流活動・会議等）	5/29	福祉推進委員会 企画会議	福祉推進委員、自治会 長、役員、民生委員 (15人)	会議により活動計画を立て、今 年度の方針を決定した。
	7/22	住民交流会	住民(52人)	昼食交流のあと、社協の出前講 座で災害時の住民助け合いの大 切さを学んだ。
	8/20	見守り訪問活動	高齢者(8人) 福祉推進委員、民生委 員(8人) 子ども会(10人)	子ども会と合同で、お菓子作り をし、独居高齢者へ訪問し配布 した。
	2/25	福祉推進委員会会議	福祉推進委員、自治会 長、役員、民生委員 (10人)	委員会活動の反省会を行った。 課題について話し合い、今後に 向けた検討を行った。
	委員会活動の合計			4回
高齢者サロン（年3回以上で、 65歳以上が半数以上の集い）	6/21	ふれあいサロン	高齢者(20人)	集会所を会場に、木曜日、午後 2時～4時にサロンを開催し た。民生委員の声掛けにより、 閉じこもりがちの高齢者の方も 何度か足を運んでくれたので、 地域での見守りができたと考え る。 6月：体を動かすゲーム 7月：子供と交流 9月：昔の遊び 10月：頭を使うゲーム 11月：ボランティアの園芸鑑賞 1月：○○○
	7/26	”	高齢者(18人) 子供(10人)	
	9/27	”	高齢者(16人)	
	10/25	”	高齢者(14人)	
	11/20	”	高齢者(21人)	
	1/31	”	高齢者(19人)	
	サロン活動の合計			

4. 報告にあたって区長さんの承認欄

区長氏名 高島 次郎 印

※締め切りは3月25日です。

5. 福祉推進委員会助成金を受けて活動し、どのような成果があったかをご記入ください。
 ※助成を受けられた方々のメッセージを広報やホームページへ掲載し、社協会費の使い道を地域の方々へお知らせします。

地区(自治会)名	藤樹 地区(自治会)福祉推進委員会
活動の成果	<p>活動の成果をご記入ください。</p> <p>・福祉推進委員を区民のみなさんに幅広く、ボランティアとして募集した。活動がボランティア型ですめられるようになり、特にサロン活動が活発になってきた。</p>
活動の課題	<p>活動の課題をご記入ください。</p> <p>・活動に若い人にも参加してもらえようしたい。</p> <p>・参加者が固定されつつあるので、他の人に来てもらえるためにはどうしたら良いか考える。</p>

活動を通して感じたことや嬉しかったことなどをご記入ください。(200字以内)

- ・「普段、誰とも話すことがない」と言われた高齢の方が、元気に笑顔で楽しんでおられて、大変やりがいを感じた。
- ・活動内容をどうするか、委員間で話し合いをしてきたが、出前講座などを利用することで、多く悩まずに進めることができた。
- ・子どもとの交流をもっと増やして、地域での子どもの見守りにつなげたい。

活動した時の資料・写真を別添付してください。
 財源表示プレートを含めて撮影をお願いします。

※添付書類：①活動実施におけるチラシ等配布書類 ②活動の写真 ※締め切りは3月25日です。

付 録

※コピーして切り取っていただき、チラシ等広報物に表示してください。

きりとり線



きりとり線

この活動は住民の皆さまにご協力いただきました社協会費を財源として実施しています。



福祉推進委員会助成金のでびき、申請・請求書（様式）、実績報告書（様式）、財源記入例は、高島市社会福祉協議会HPからもダウンロードしていただけます。

<http://takashima-shakyo.or.jp/>